

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-126494(P2005-126494A)

【公開日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2005-019

【出願番号】特願2003-361110(P2003-361110)

【国際特許分類】

C 08 G 64/06 (2006.01)

C 08 G 64/30 (2006.01)

C 08 L 69/00 (2006.01)

B 01 D 35/02 (2006.01)

【F I】

C 08 G 64/06

C 08 G 64/30

C 08 L 69/00

B 01 D 35/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

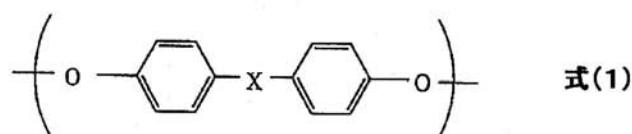
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エステル交換法により得られる粘度平均分子量16,000以上の芳香族ポリカーボネートであって、下記式(1)で表される構造単位1モルに対する分岐構造単位の合計モル数の比が0.3mol%を越え0.8mol%以下であり、フィッショアイ数が1,500個以下の範囲であることを特徴とする芳香族ポリカーボネート。

【化1】

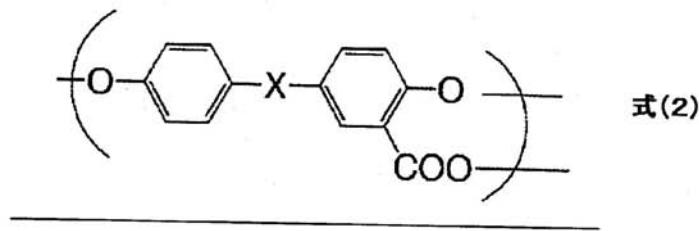


(上記式(1)において、Xは、単結合、炭素数1~8のアルキレン基、炭素数2~8のアルキリデン基、炭素数5~15のシクロアルキレン基、炭素数5~15のシクロアルキリデン基又は、-O-, -S-, -CO-, -SO-, -SO₂-で示される2価の基からなる群から選ばれるものである。)

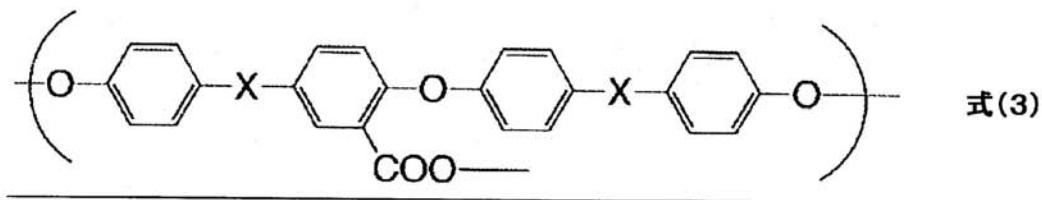
【請求項2】

上記分岐構造単位が一般式(2)~(5)で表されることを特徴とする請求項1記載の芳香族ポリカーボネート。

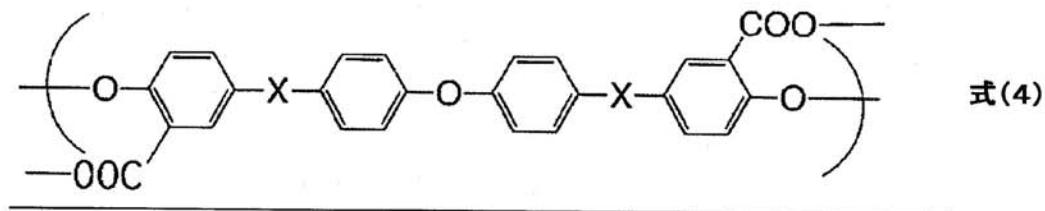
【化2】



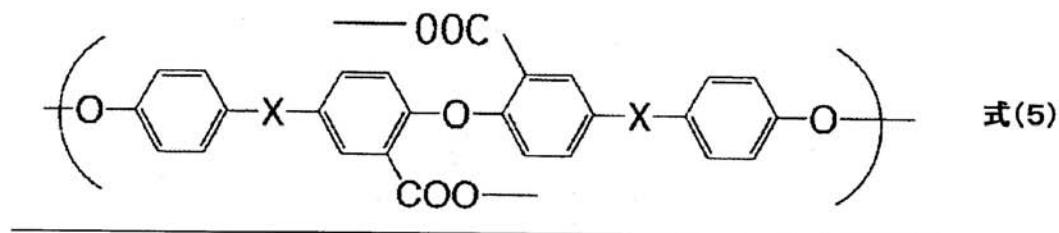
【化3】



【化4】



【化5】



(上記式(2)から(5)とも、Xは、単結合、炭素数1～8のアルキレン基、炭素数2～8のアルキリデン基、炭素数5～15のシクロアルキレン基、炭素数5～15のシクロアルキリデン基又は、-O-，-S-，-CO-，-SO-，-SO₂-で示される2価の基からなる群から選ばれるものである。)

【請求項3】

請求項1又は2記載の芳香族ポリカーボネートに添加剤を添加することを特徴とする芳香族ポリカーボネート組成物。

【請求項4】

請求項1又は2記載の芳香族ポリカーボネートが溶融状態にある間に、添加剤を添加し混練した後、ポリマーフィルターで濾過する際、該ポリマーフィルターのフィルターエлементがフィルター用支持板を有することを特徴とする請求項3記載の芳香族ポリカーボネート組成物の製造方法。

【請求項5】

フィルター用支持板が、円板状平板部材に、径方向に延びる切れ目または長穴を、周方向に多数刻設されるとともに、該切れ目または長穴の環状列を、円板状平板部材の径方向に同心状に複数列配設し、各切れ目または長穴間部分を、円板状平板部材の周方向に互いに位置をオフセットした上下パンチで曲げ加工され、円板状平板部材の板面に対し実質的に

90度捻じって該板面から上下方向に垂直に立ち上がる立片部に成形されていることを特徴とする請求項4記載の芳香族ポリカーボネート組成物の製造方法。

【請求項6】

フィルター用支持板が、上下パンチによる曲げ加工に際し、円板状平板部材の板面を上下押さえ部材で保持されていることを特徴とする請求項4又は5記載の芳香族ポリカーボネート組成物の製造方法。

【請求項7】

フィルター用支持板が、上下パンチと押さえ部材を互いに相対変位可能に支持されていることを特徴とする請求項4乃至6のいずれかに記載の芳香族ポリカーボネート組成物の製造方法。

【請求項8】

フィルター用支持板が、切れ目または長穴の長手方向両端部に、長手方向中央部における切れ目または長穴の幅よりも大径の孔を形成されていることを特徴とする請求項4乃至7のいずれかに記載の芳香族ポリカーボネート組成物の製造方法。

【請求項9】

フィルター用支持板が、切れ目または長穴の長手方向両端部に、長手方向中央部における切れ目または長穴の幅よりも大径の孔を形成されていることを特徴とする請求項4乃至8のいずれかに記載の芳香族ポリカーボネート組成物の製造方法。

【請求項10】

フィルター用支持板が、円板状平板部材がステンレスからなることを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載の芳香族ポリカーボネート組成物の製造方法。

【請求項11】

芳香族ジヒドロキシ化合物と炭酸ジエステルとを触媒の存在下に、エステル交換反応させた後、得られること特徴とする請求項4乃至10のいずれかに記載の芳香族ポリカーボネート組成物の製造方法。

【請求項12】

エステル交換反応を連続的に行うこと特徴とする請求項4乃至11のいずれかに記載の芳香族ポリカーボネート組成物の製造方法。